

敬語の5分類を知ってスマートな話し方を身につけましょう

旧分類	新分類 (2007～)	対象	敬意の度合いと特徴	例
尊敬語	尊敬語	相手側または、第三者の行為、ものごと、状態などについて、その人物を立ててのべる	1: 動詞+「れる・られる」/ 「て(で)くださる」	来られる／来てくださる 説明される／署名してくださる
			2: 「お・ご」+動詞+「になる」「くださる」 ※「なさる」(○説明なさる × 書きなさる)	お書きになる／お書きくださる ご説明になる／ご署名くださる お話しなさる／ご説明なさる
			3: 変則的な尊敬語・言い換え語	召し上がる／お越しになる おっしゃる／いらっしゃる
謙譲語	謙譲語 Ⅰ	自分または自分側がへりくだることで相手への敬意を表す ※主語は「自分」「自分側」	1: 「お・ご」+動詞+「する」	お知らせする／ご説明する
			2: 変則的な謙譲語・言い換え語	伺う／拝見する／拝借する 存じ上げる／申し上げる
			3: 「(さ)せていただく」(さ入れ注意) (本来は、許可をもらうときに使う)	コピーさせて頂いてよろしいでしょうか ? 私に書かせていただいただけですか
			4: 動詞+「～て(で)いただく」	書いて頂く／飲んで頂く／説明していただく
			5: 「お・ご」+動詞+「～いただく」	○お書きいただく × お書きしていただく ○ご説明いただく × ご説明していただく
謙譲語 Ⅱ	謙譲語 Ⅱ	自分側の行為、そのほか物事を相手に対して丁寧に述べる	「参る」「申す」 「存じる」 「致す」「おる」 「拙著」「小社」	バスが参りました 母の名前は、花子と申します 北海道に住んでおりました それを存じております 私が、ご説明致します こちらからお送り致します
丁寧語	丁寧語	相手に対して丁寧に述べる	「です」「ます」「(で)ございます」 ※ 名詞と形容詞には「です」が続く ※ 動詞には「ます」が続く	それは、花です 私が、行きます 資料が、ございます 資料でございます